

noon dance performance

染まるものは 空と体

演出・振付 松崎えり

出演 松本大樹

増田真也

キム・セジョン

佐藤勝重
(piano)

坂田尚也

松崎えり

2018.10.6 Sat. — 7 Sun.

10月6日[土] 19:00 / 10月7日[日] 15:00

東京芸術劇場シアターウエスト

チケット 指定席 ¥4,500 自由席 ¥4,000

照明: 足立 恒 舞台監督: 酒井 健 音響: 中村 蓉子 主催: バレエ団ピッコロ

【お問い合わせ先】 ✉ erinlj@yahoo.co.jp

バレエ団ピッコロ ☎ 03-3972-1476

noon dance performance

染まるものは 空と体

2018.10.6 Sat. — 7 Sun.

10月6日[土] 19:00 / 10月7日[日] 15:00

東京芸術劇場シアターウエスト

チケット 指定席 ¥4,500 自由席 ¥4,000

【お問い合わせ先】

erinljp@yahoo.co.jp

バレエ団ピッコロ ☎ 03-3972-1476

■上演作品

「ざくろ」

振付・出演 松崎えり 増田真也

「染まるものは空と体 ~ episode 1 ~」

出演 松本大樹 坂田尚也

「L'adieu」 ※6日のみ上演

出演 キム・セジョン 松崎えり 佐藤勝重

「染まるものは空と体 ~ episode 3 ~」

※7日のみ上演

出演 松本大樹 増田真也 坂田尚也 佐藤勝重 松崎えり

■出演



松本大樹

コンテンポラリーダンス振付家
父は短距離走者、詩人。母はテニスプレイヤー、教育者。多摩美術大学卒業後、97年英国ランセンセンターに渡り二年間コンテンポラリーダンスを学ぶ。連鎖して現れる流動の美しさを追うことに没頭。89年より岡田陽から朗読劇を通じ言葉の表現を学ぶ。01年スイスSiWiCにて振付研修。10年文化庁海外研修制度の助成を受け米国に渡りリモンテクニック研修。東洋大学、日本工学院、SESSION HOUSE、TURNS、PASHA、鳥取、香港でダンスを創り教える。松崎えり公演への参加は2007年より。



増田真也

静岡県藤枝市出身。玉川大学教育学科卒業。バレエを橋浦勇に師事。日本バレエ協会主催公演に多数出演。2009年 自身の踊りの探求のため渡欧。同年 松崎えりと「uppull(es)map」を結成。毎年国内外で新作を発表。2015年より東京芸術劇場アトリエイーストにてヒトモノコトなどの境界に生まれるであろう世界に目を向けることを一つの目的として「第3空間 Tokyo Parnassus」をスタートさせる。2018年より唄い手(作詞作曲家)モンデンモモと東京 出雲 ウィーンを拠点に自らの文化 芸術を発信する。



キム・セジョン

韓国カンウォン国立大学バレエ学部舞踊学科卒業。2002年韓国バレエ協会男子クラシックバレエ部門にて大賞受賞。05年韓国ユニバーサル・バレエ団に入団し、ドゥミソリストとして多くの作品に出演。在団中、06年韓国舞踊協会新人舞踊コンクールバレエ部門男子第1位、07年韓国舞踊協会新人舞踊コンクールバレエ部門男子特賞、09年韓国バレエ協会新人賞、バレエ部門銀賞を受賞。11年東京シティ・バレエ入団。翌年『ロミオとジュリエット』で初主演を飾る。以来数多くの作品で主演を務め、安定した技術と、のびやかさと繊細さを併せ持った表現力を発揮している。



佐藤勝重

桐朋女子高等学校音楽科(共学)を首席で卒業後渡仏。その後パリ国立高等音楽院を1等賞、パリ・エコール・ノルマル音楽院の高等演奏家課程を賞状つき満場一致で卒業。国内外のコンクールに優勝する傍ら数多くのコンサートに出演。2004年、12年の在仏を経て帰国。2012年リリースの初ソロCD「ノクチュルヌ」は、15人の作曲家によるノクターンを収録し、レコード芸術誌特選盤に選ばれ大きな反響を呼んだ。2016年にセカンドアルバム「オマージュ」をリリース(同誌準特選盤)。近年は室内楽にも活動の場を広げており、日本を代表する弦、管楽器の多くのアーティストから信頼を得ている。また、桐朋学園音楽大学、昭和音楽大学にて後進の指導にも力を入れている。
公式ブログ: <http://yaplog.jp/katsushige/>



坂田尚也

コンテンポラリーを能美健志、軽部裕美、バレエを柳瀬真澄に師事。能美健志作品をはじめ、カルメン・ワーナー、テロ・サーリネン、石井みどり、松崎すみ子、松崎えり、早川恵美子・博子、青木尚哉作品等に出演。自身でも自作ソロを発表しコンクールなどにおいても受賞多数。2016~2018年までNoism1に所属。ノイズム在籍中は「NINA-物質化する生け贖」「Painted Desert」「マッチ売りの話+passacaglia」など主な作品に出演する。退団後、現在はフリーで活動中。



松崎えり

幼少よりバレエをはじめ、後にモダンダンス(故 庄司裕に師事)、コンテンポラリーダンス(能美健志に師事)を学ぶ。1995年 台湾国立芸術学院舞踊科に講師、振付家として滞在、1997年にはWIEN INTERNATIONAL DANCE FESに奨学金を得て参加。2000年 自ら企画、演出振付を手がける<noon>を始動。2001年イリ・キリアン/中村恵恵作品「Black Bird」に中村の他唯一の出演者として選ばれ 世界初演より出演。同作品でHolland Dance Fes, Wien International Dance Fes,彩の国さいたま芸術劇場キリアンフェスティバルに出演。2003年 文化庁芸術家在外研修員としてフランスなどで研修。2004年より ほぼ毎年 東京、パリなどで公演。2009年 duo dance unit<uppull(es)map>を増田真也と始動。東京、パリ、ベルギー、静岡、南仏などで公演活動を行う。また、寺山修司演劇祭参加、ふじのくに せかい演劇祭フリンジ企画出演、シアターX国際舞台演劇祭参加、また教会、お寺などでも踊る。ソロとしても、東日本大震災 鎮魂祭(京都 泉涌寺 即成院)、練馬 圓明院花祭りでの舞の奉納など。振付家として、Neo ballet、バレエスタジオ aplomb、札幌ドリームオブダンサーズなどに招かれている。母は振付家 松崎すみ子、父は舞台照明家 松崎康通。

東京芸術劇場 シアターウエスト

JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線
池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通路の
2b出口から直結しています。

